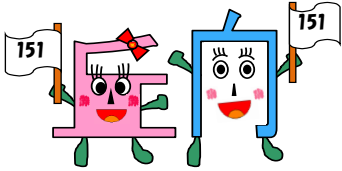


# かけはし

川崎市立向丘小学校  
学校便り3月号  
R.6.2.29



## 自分を大切に思う気持ちを

校長 大曾根 実

2月16日（金）には1～5年生の授業参観と懇談会を、2月22日（木）には6年生の「旅立ちの会」と懇談会を行いました。それぞれの学年が、今年最後の参観となるこの機会に、1年間の成長を見ていただくことができました。昨日や1ヶ月前と比べると、ほとんど何も変わっていないような姿ですが、1年間というスパンで見ると大きな成長をしていることに気付くことができます。1年間と言わず、生まれたころや入学前など、数年間の時間を考えてみると、その成長にはとても大きなものがあると思います。

3月を前にして、学校では様々な「まとめ」の時期になっています。いろいろな教科で学習したことの定着を確認したり、付けた力を活用して一步深めた学びに取り組んだりしています。また、一つ上の学年から学んだり、次の学年に引き継いだりする活動も行われています。1年生は、先日、近隣の幼稚園や保育園と交流を行いました。「小学校を楽しみにしてほしい」という願いでランドセルを背負わせてあげるなどしました。2年生は、少し前ですが、秋に作ったおもちゃで1年生と遊びました。3年生と4年生は総合的な学習で学んだことをそれぞれ2年生と3年生に発表します。5年生は6年生の「旅立ちの会」に招かれ、6年生の発表を目の当たりにし、先輩たちへの思いを新たにしました。6年生は地域教育会議の子ども会議で中学生と交流し、SDGsに関する活動を交流しました。

本校では、日常的に様々な交流があります。遠足に出かける学年を見かけると、門まで列を作り見送ったり、修学旅行や自然教室の際は、全校で巨大な垂れ幕を作り、見送りとお迎えをしたり、校外学習の成果を前後の学年で聞き合ったりと、きまり事ではなく、脈々とつながれてきたことです。今年からは「ふれあいタイム」も復活しています。1年から6年までが、数人ずつ集まり、中休みに高学年をリーダーとして遊びを中心とした交流をしています。委員会やクラブもそうですが、年度終盤で、リーダーが6年から5年へと引き継がれています。

今日も、「6年生にありがとうを伝えよう集会～また会う日まで～」がありました。6年生の門出に際し、5年生が中心となり、全校でお祝いと感謝の気持ちを伝える会です。どの学年も会のめあてに向けて実行委員を作り、準備してきた思いを発表しました。学校だよりの原稿には間に合わなかったのですが、会の様子をお子さんに聞いてみていただくとありがたいです。

卒業式、修了式まであと少しです。節目となるこの年度末。お子さんの成長に目を向け、できるようになったこと、安心して任せられるようになったこと、頼りにすることができるようになったこと、丈夫になったこと、力強くなったことなど、一緒に喜び、認めてあげてほしいと思います。

自分を大切に思う気持ちを育むことは、とても大切なことだと思います。